

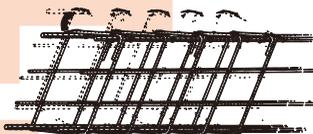
組立式鉄筋用のバネ製金具

- ◎ 建設業界では鉄筋技能工の不足が工期の遅延をもたらすなど深刻な問題になっていますが、大成建設(株)では鉄筋工不足に対応するため新しい鉄筋組み立て工法を開発しました。そのことは2月22日の日刊工業新聞建築欄のトップ記事として発表されました。
- ◎ この鉄筋工法の特長は、針金の結束線のかわりに取付簡単なバネ製クリップ[®]を使って工場で組み立てた鉄筋の各部材を、折りたたんで搬入し現場でたやすく復元すればよいので、工期の短縮、輸送効率の向上、特殊技能工不足の解消等多くの利点があります。
- ◎ 新工法の主役であるバネ製クリップはネグロスの専門技術を生かして共同開発されたものです。数年来、振動に強くワンタッチ取付のバネ式金具をスローガンとして、ネジからバネへを推進してきたネグロスの成果が建設資材にも生かされたものです。
- ◎ ネグロスではプレス、ロールフォーミング、焼入れ、ダクロ塗装、粉体塗装など広く応用のきく技術に、新製品開発能力を加えて、新しい分野でも社会のお役に立ちたいと念願しております。

(M, K)



クリップをかけた状態



梁材用鉄筋を折りたたんだ状態
(点線は復元した状態)

ネジからバネへ

- ◎ 電線管等支持金具類はネジ止め式のものが多かったのですが、人件費の高騰にともない主として省力化の目的で欧米先進国からバネ式のものを使用され、わが国にも少しずつ広まってきました。
- ◎ その少し前から、ネグロスでは米国における業界のトップメーカーから数百種のキャディー商標のバネ式支持金具を輸入販売し同時に技術提携をしてその商品の国産化をすすめてきました。
- ◎ 当初バネ式支持金具は、一見弱そうに見えるのと、ネジのないたよりなさから、ユーザーになじみ薄かったのですが、実際使用してみて、みかけによらず強いことなど少しずつご理解いただけるようになり、53年6月から本格的販売にとりかかりました。
- ◎ その時期に、たまたま宮城県沖地震があって、ネジ式金具が、はずれて落ち、バネ式の方が地震にも強いことが実証されました。バネ式は省力化資材としてよりも振動に強い特長を重視して開発してきたネグロスとしては貴重な体験を得ました。
- ◎ 第1回のネジからバネへの切替は、53年7月から二重天井内の軽みぞ形鋼交差止金具のT-38CからU-38CとDへ、地震でよい結果が出たことも手伝って、急速にバネ式に切替わり年末には長年使われてきたネジ式を殆んど駆逐してしまいました。
- ◎ 第2回目のネジからバネへは、吊りボルト用電線管固定金具および鉄筋交差止金具のP.L.シリーズからKシリーズへの切替で、54年から始めて目下進行中であります。
- ◎ そのほかにも軽みぞ形鋼用電線管支持金具T-38からUシリーズへの切替、同じ目的のF B-14Pへの切替、ボックス固定用金具T-38BからF B-38への切替も平行して進んでいます。
- ◎ ネグロスの**バネ式取付金具の特長**は、**振動に強い**ため**安全性が高い**こと、**取付の省力化**、ネジ式よりも**単価が安いものが多い**こと、二重天井内の**狭い場所でも取付容易で軽い**こと等であります。